

第6学年1組 道徳学習指導案

6年1組教室

1 単元名 かけがえのない友達

2 単元の目標

友達の輪を広げ、友達と適切なかかわり方をしながら、信頼を深め、互いを大切にしていこうとすることができる。

3 単元設定の理由

本学級は、1つの目標に向かって取り組む中で、仲間との協力をいとわず、力を発揮することができる学級集団である。2学期に行われた町の体育大会の中でも発揮された。けがをして種目に参加できなかった児童Aは、練習から本番までクラスメイトを全力で応援し、仲間の奮闘ぶりをまるで自分のことのように喜んでいて、また、選手に選ばれなかった児童Bは、選手に選ばれた子が入賞した際に、本人以上に喜んでいて、姿もあつた。こうした仲間を思う心が大きな行事を成功させていく上で、大きな支えとなっている。2学期のこの時期は、学級で協力して一つのものを作り上げていく活動が多い。学級のみなどのかかわりが深くなるこの時期に、友達についての考えを深めてほしい。そして、普段の学校生活の中で分け隔てなく仲間とかかわり、力を発揮できるようになってほしいと願い、教科・領域の時間と道徳の時間を関連させた総合単元的道徳学習を設定した。

本実践では、道徳の時間の中で友達とかかわっていく上で大切な価値に気づき、友達とかかわったり、協力したりする場面が多い学芸会の練習から本番までの活動の中で問題解決を進めていけるようにする。また、単元を貫く学習課題「友達とかかわっていく上で大切にしていきたいことは何か」を設定し、道徳の時間や学芸会の活動中で横断的に考えていけるようにしたい。また、実践の中で用いる資料も、「友情・信頼」だけでなく、「親切・思いやり」や「公正・公平、社会正義」など、様々な視点から友達とのかかわりについて考えられるものを選定する。そうすることで、友達の概念を広げることができる。さらに、道徳の時間や学芸会の活動のつながりを意識できるように、道徳ノート「Heart note」を作成し、活動や感想を蓄積できるようにする。毎時間、自分が考えたことを振り返り、積み重ねることで、より深い自分の考えを築いていくことができると考えた。

本時では、友達を大切にするという事は、1対1の関係の中で良好な関係を築くだけでなく、その関係が学級や学校の中で認められる存在であることも大切だということに気づかせたい。友達が周囲に認められる存在であるためには、時に公正・公平な立場で友達とかかわることも大切であると考え、「ぼくはこうかいしない」(出典：明るい心 愛知県教育振興会)という資料から友達とのかかわり方について考えさせていきたい。本資料は、学級会の議題を決めることになった三郎が、友人である正夫がボールを独り占めしているという議題を取り上げるべきか悩んだ末に、その問題を学級会の議題に決めるまでの葛藤を表した話である。本学級の子もたちの中にも友だちだから、悪いと分かっているけど何も言えずに許してしまったり、関係が崩れることを恐れるがあまり何も言えなかったりする子どもたちがいる。「友達だからこそ真剣に考え、友達だからこそ伝えられる」そのような考え方をこの資料を通して感じられるようになってほしいと願っている。そのために、三郎の決断に対して自分なりに考えを深めていけるテーマ発問を取り入れる。最後の振り返りの場面では、これまでの学習を振り返りながら改めて友達とかかわっていく上で大切にしていきたいものを考えさせたい。

本実践を通して、友だちという考え方を今仲のよい子という見方だけでなく、自分とかかわる人は、見方次第で友達になる可能性があるということに気付いてほしい。また、友達としてかかわっていく上で、何を大切にしていってほしいか考え、より深いかかわり方ができるようになってほしい。目的に向かう活動を通して互いの理解が深まり、学級みんなが心のつながりをもつかけがえのない友達だという意識をもち、みんなで過ごせる残り半年を大切にしていきたいと願っている。

友達としてかかわっていく上で大切にしていきたいことは何だろうか

友達ってなんだろう

B-（10）友情・信頼
「あらしの夜に」

- ・自分とは合わないと思いつむのではなく、まずかかわることが大切だと思う。
- ・相手が誰であっても、友達になることができると思う。自分たちの気持ち次第だと思う。

友達だったら当たり前

B-（7）親切・思いやり
「オトちゃんルールは『あたりまえ』」

- ・できないから仲間じゃないと考えるのではなく、どうすればいっしょにできるかを考えた方が楽しいと思う。
- ・相手のことを思って行動することが大切だと思った。それができれば、相手だけじゃなくて、自分も気持ちがよくなると思った。

友達のために

B-（10）友情・信頼
「ないた赤おに」

- ・青鬼のように友達を思って自分をぎせいにするのはすごいと思う。本当に大切な存在だったら自分も青鬼と同じ気持ちになると思う。
- ・赤鬼の気持ちもよくわかるが、青鬼の気持ちに気づいてあげることができたら、もっとよかった。そこに気づくことができれば、きっと話は変わっていたと思う。

本当の友達って（本時）

C-（13）公正・公平、社会正義
「ぼくはこうかいしない」

- ・友達だからこそ伝えなきゃいけないことはしっかり伝えることが大切だと思った。
- ・自分にできるかどうかわからないけれど、これからは友達のことを思って、大切なことを伝えられるように心がけていきたい。

教科・領域での児童の意識

- ・陸上大会では、みんなで協力して満足いく結果が出せた。（体育）
- ・Cさんがアドバイスをくれたおかげで自己ベストが出た。（体育）
- ・みんなでよい劇を作りたい。そのためには、みんながたくさんアドバイスを申し合っていたい。
- ・場面ごとの練習でなかなか自分の思っていることを伝えられないな。
- ・一緒に演技する子と今まであまり話をしたことがないし、心配だなあ。

- ・面白い物語を作っている子がたくさんいたな。休み時間に読ませてもらおう。（国語）
- ・今まであまりかかわったことがなかったけれど、場面練習では話しかけてみよう。
- ・Dさんは体を動かしながら、口を大きく開けて歌っている。次の休み時間には一緒に歌の練習をしたい。（音楽）
- ・普段はふざけていることが多いけれど、演技の声は大きいし、3場面では頼りになるな。
- ・演技も上手だし、いろいろなことを教えてくれるから優しいな。

- ・一人で練習するよりも場面練習や全体練習の方がやる気が出るし、楽しいな。
- ・みんなでいい劇を作るためには、どんな練習を進めていけばいいのかな。
- ・Dさんは、暗いところで動くとき危ないから、明るい場所でできる仕事がいいと思うよ。

- ・私のために一生懸命アドバイスをくれたり、相談にのってくれたりした、みんなに応えるためにも下見では全力でやろう。

- ・Eさんがやりたい役を私がやることになったんだから、Eさんの気持ちを考えれば、わたしはもっと頑張らないといけないな。

- ・仲間と一緒に最高の学芸会ができた。お互いに厳しいことを伝えたこともあったけれど、それがあったからうまくいった。
- ・これからもお互いに思っていることを素直に伝え合っても認め合える仲間と卒業まで過ごしていきたい。
- ・幸中と南中に分かれてしまうのは、寂しいけれど、だからこそ、今から卒業までの時間を大切にしていきたい。

友達へ対する見方やかかわり方

かけがえのない友達との時間を大切にしていきたい。

5 本時の学習

(1) 主題名 本当の友達って 4 - (2) 公正・公平, 社会正義「ぼくはこうかいしない」
(出典: 明るい心6年 補充資料 愛知県教育振興会)

(2) 本時のねらい

友達に対して自分の正しいと思うことを伝えることの大切さに気づき、友達とかかわっていく上で大切にしたいことへの考えを深めることができる。

(3) 準備

- ・教師…場面絵、座席表
- ・児童…資料、Heart note

(4) 本時の学習

展開	学 習 活 動	○指導上の留意点 ※評価
導入 4	<p>1 友達だと言にくいことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当はドッチで遊ぶのが嫌だったけど、友達に合わせて何も言えなかった。 ・友達がルールを守っていない時に注意をする。 <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>○ねらいとする価値への方向づけをするために友達とのかかわりの中で苦労した経験を思い出させる。</p> <p>○発表することに抵抗を感じる事が考えられるため、挙手のない場合は無理には発表させない。</p>
	友達としてかかわっていく上で大切にしていきたいことは何だろうか。	
展開 3 6 1 0	<p>3 資料を読んで話し合う。</p>	
	ポストから出た2つの議題を見たとき、三郎はどんなことを思っていたでしょう。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。正夫に都合の悪いことを提案するのは気が引けるな。 ・でも、クラスみんなも困っているし提案すべきなのかな。 	<p>○正夫の葛藤する気持ちがよくわかるように、場面絵を用いて状況を整理する。</p>
	学級会で発言しながら三郎はどんなことを思っていたでしょう。	
1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・正夫はどんな気持ちになっているかな。正夫の顔を見るのがつらいな。 ・正夫のことを考えるとつらいけど、これが正しかったと思うから頑張ろう。 ・正夫がこのまま、クラスみんなに認められないのも辛い。もしかしたら自分は嫌われてしまうかもしれないけれど、この先の正夫のことを思ったら、ここで提案した方がいいはず。 	<p>○自分の考えを深めたり、自信をもって発表したりできるように、グループ対話の時間を設定する。</p> <p>○公正・公平の観点をはっきりとするように、三郎自身の気持ち、正夫を思う気持ち、クラスを思う気持ちの大きく3つに分けて板書する。</p> <p>○公正・公平に考えることが友達を大切にすることにつながっていると気づかせるため、「このまま正夫が自分のしていることに気づかなかつたら」と切り返しをする。</p>
1 6	<p>4 学習課題に対して自分の考えをもつ。</p>	
	友達としてかかわっていく上で大切にしていきたいことは何だろうか。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本当の友達だったら、やっぱり言いづらいことでも伝えることが大切だと思う。 ・友達だからこそ真剣に考えて、相手を信じる気持ちが大切だと思う。 ・友達に間違ったことをしてほしくないと思えるのも友達だからだと思うから、厳しいことも伝えられる信頼関係が大切だと思う。 	<p>○自分の考えをじっくり考えてまとめられるように、Heart note に書かせる。</p> <p>○自分の考えを書くのに苦労している児童に対しては、友情について思い返せるようにするために前時までの Heart note の記述を振り返らせる。</p> <p>※友情についての考えを深め、クラスの仲間とかかわっていこうとする気持ちを高めることができたか。(Heart note の記述、発言)</p>
終末 5	<p>5 本時の学習の感想をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とただ仲良くかわるだけでなく、お互いに思っていることを伝えられる関係をこれから作っていききたいと思った。 	<p>○感じたことをクラスで共有させるために、数人指名し発表させるようにする。</p>

(5) 本時の評価

公正・公平な立場に立って友達とかかわっていこうとする気持ちが高まっていったか。

(6) 本時の視点

公正・公平の資料で場面発問で三郎の状況を理解させ、テーマ発問で友情について考えさせたことが友情と公正・公平のかかわりについて考える上で有効であったか。